

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年8月12日
【四半期会計期間】	第63期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	中央紙器工業株式会社
【英訳名】	CHUOH PACK INDUSTRY CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 神谷 兼弘
【本店の所在の場所】	愛知県清須市春日宮重町363番地
【電話番号】	052(400)2800(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役事務統括部長 南谷 登志宏
【最寄りの連絡場所】	愛知県清須市春日宮重町363番地
【電話番号】	052(400)2800(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役事務統括部長 南谷 登志宏
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第1四半期 連結累計期間	第63期 第1四半期 連結累計期間	第62期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	3,292,887	2,946,043	12,551,148
経常利益(千円)	352,731	287,556	1,236,186
四半期(当期)純利益(千円)	214,559	176,805	746,000
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	256,908	270,382	906,133
純資産額(千円)	8,421,420	9,151,344	8,975,363
総資産額(千円)	10,525,524	11,080,442	10,949,629
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	43.17	35.58	150.12
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	80.01	82.59	81.97

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業内容の変更はありません。また、関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による金融緩和政策、政権交代後の経済政策などによる円高修正および株高、また米国における経済回復もあり、景気は持ち直しの様相を呈しているものの、中国において景況感に陰りが出ていることなど不安材料もあり、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当業界におきましては、一部食品関連にて明るさが出てきているものの、当社グループの得意としている自動車・電気機械関連においては本格的な回復には至っておりません。

このような状況下において、当社グループは、包装提案による販売活動を行うものの、主要得意先である自動車・電気機械関連企業の海外への生産拠点移管や、価格競争も熾烈化したことにより、売上高29億46百万円（前年同四半期比10.5%減）、営業利益2億63百万円（前年同四半期比22.3%減）、経常利益2億87百万円（前年同四半期比18.5%減）、四半期純利益1億76百万円（前年同四半期比17.6%減）の減収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本は、取引先の生産拠点の海外移管の影響等により、売上高24億23百万円（前年同四半期比13.5%減）、セグメント利益2億35百万円（前年同四半期比22.2%減）となりました。

中国の売上高は、為替相場の円高修正の影響により5億22百万円（前年同四半期比6.1%増）となったものの、セグメント利益は取引先の生産減の影響等により、1百万円（前年同四半期比88.3%減）となりました。

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度に比べ1億30百万円増加し110億80百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度に比べ1億14百万円増加し76億82百万円となりました。これは、主に現金及び預金が増加し、前連結会計年度に比べ1億26百万円増加し48億18百万円となったことによるものです。固定資産は、前連結会計年度に比べ16百万円増加し33億98百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度に比べ45百万円減少し19億29百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度に比べ42百万円減少し14億15百万円となりました。これは、主に未払法人税等が増加し、前連結会計年度に比べ81百万円減少し1億28百万円となったことによるものです。固定負債は、前連結会計年度に比べ3百万円減少し5億13百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度に比べ1億75百万円増加し91億51百万円となりました。これは、主に利益剰余金が増加し、前連結会計年度に比べ70億10百万円増加し70億10百万円となったことによるものです。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の総額は21百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,000,000
計	18,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	5,225,008	5,225,008	名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数 1,000株
計	5,225,008	5,225,008		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金 増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年4月1日 ~平成25年6月30日	-	5,225	-	1,077,895	-	980,327

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 256,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,965,000	4,965	-
単元未満株式	普通株式 4,008	-	-
発行済株式総数	5,225,008	-	-
総株主の議決権	-	4,965	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数(株)	他人名義所有株 式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
(自己保有株式) 中央紙器工業株式会 社	愛知県清須市春日宮 重町363番地	256,000	-	256,000	4.89
計	-	256,000	-	256,000	4.89

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,692,392	4,818,766
受取手形及び売掛金	2,390,679 <sup>2</sup>	2,321,267 <sup>2</sup>
商品及び製品	99,428	101,898
仕掛品	12,071	11,481
原材料及び貯蔵品	47,772	45,633
その他	325,787	383,563
貸倒引当金	207	201
流動資産合計	7,567,925	7,682,410
固定資産		
有形固定資産	2,354,572	2,320,225
無形固定資産	16,096	15,975
投資その他の資産	1,011,035 <sup>1</sup>	1,061,830 <sup>1</sup>
固定資産合計	3,381,704	3,398,031
資産合計	10,949,629	11,080,442
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	864,931 <sup>2</sup>	838,663 <sup>2</sup>
未払法人税等	210,564	128,645
賞与引当金	125,288	56,660
役員賞与引当金	26,150	6,510
その他	231,043	385,389
流動負債合計	1,457,977	1,415,868
固定負債		
退職給付引当金	392,895	394,407
役員退職慰労引当金	75,200	70,500
その他	48,192	48,322
固定負債合計	516,288	513,229
負債合計	1,974,266	1,929,098
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,077,895	1,077,895
資本剰余金	980,562	980,562
利益剰余金	6,928,316	7,010,719
自己株式	70,326	70,326
株主資本合計	8,916,447	8,998,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213,359	250,443
為替換算調整勘定	154,443	97,950
その他の包括利益累計額合計	58,916	152,493
純資産合計	8,975,363	9,151,344
負債純資産合計	10,949,629	11,080,442

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,292,887	2,946,043
売上原価	2,455,297	2,209,263
売上総利益	837,590	736,780
販売費及び一般管理費	498,442	473,257
営業利益	339,148	263,523
営業外収益		
受取利息	2,456	1,601
受取配当金	7,568	10,131
仕入割引	3,417	2,182
その他	12,505	13,596
営業外収益合計	25,948	27,511
営業外費用		
持分法による投資損失	2,322	2,795
為替差損	9,873	-
その他	168	682
営業外費用合計	12,364	3,478
経常利益	352,731	287,556
税金等調整前四半期純利益	352,731	287,556
法人税、住民税及び事業税	152,459	126,032
法人税等調整額	14,287	15,281
法人税等合計	138,171	110,750
少数株主損益調整前四半期純利益	214,559	176,805
四半期純利益	214,559	176,805



【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	214,559	176,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,608	37,083
為替換算調整勘定	46,977	38,609
持分法適用会社に対する持分相当額	7,978	17,883
その他の包括利益合計	42,348	93,577
四半期包括利益	256,908	270,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256,908	270,382

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
投資その他の資産	5,440千円	5,440千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	22,778千円	21,657千円
支払手形	12,771	10,766

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	69,400千円	70,445千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	89,447	18.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	94,402	19.00	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,800,206	492,681	3,292,887	-	3,292,887
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,800,206	492,681	3,292,887	-	3,292,887
セグメント利益	302,968	13,261	316,229	22,918	339,148

(注)1. セグメント利益の調整額22,918千円には、セグメント間取引消去23,314千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,423,440	522,603	2,946,043	-	2,946,043
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,423,440	522,603	2,946,043	-	2,946,043
セグメント利益	235,770	1,546	237,316	26,206	263,523

(注)1. セグメント利益の調整額26,206千円には、セグメント間取引消去27,446千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## ( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 ( 自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日 )	当第 1 四半期連結累計期間 ( 自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日 )
1 株当たり四半期純利益	43円17銭	35円58銭
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益 ( 千円 )	214,559	176,805
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )	-	-
普通株式に係る四半期純利益 ( 千円 )	214,559	176,805
普通株式の期中平均株式数 ( 株 )	4,969,330	4,968,543

( 注 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

## ( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

中央紙器工業株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 西松 真人 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 加藤 克彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている中央紙器工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、中央紙器工業株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。